宇都宮市立泉が丘小学校　学校だより　第２号

いずみ

★ 重点合言葉 ★
「いいね」と「わくわく」がいっぱい！
楽しい学校　泉が丘

令和8年5月29日　発行　髙木　恵美

≪今年のスローガン≫

全員主役　みんな輝く　運動会！

５年１組　古口　明依さん　作



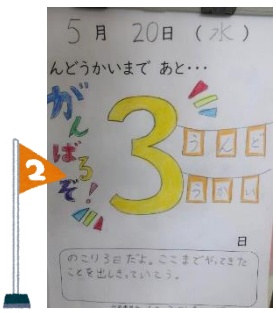
前日までの天気がうそのような，好天に恵まれた運動会でした。

４月下旬から学年や種目ごとの練習が始まり，開・閉会式の全体練習は，たった１回のみです。唯一の全体練習のあいさつで，子供たちには，「練習が始まったその時から『運動会』は始まっている」という話をしました。

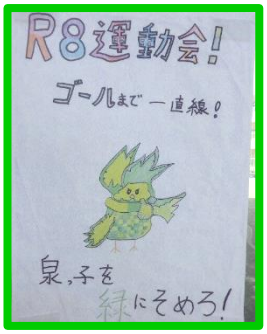
運動の得意な子も苦手な子も，駆け足の速い子もそうでない子も，一人一人がその子なりの見通しや目標をもって練習に励み当日を迎えました。

特に，高学年は競技や演技だけでなく，当日に向けての様々な準備において，各々が自分の役割を自覚し，責任をもって取り組む姿がありました。昇降口に掲示されていた「運動会カウントダウンカレンダー」（企画委員会作成）や各色の応援ポスター（運動委員会作成）は，運動会への機運を高めてくれました。





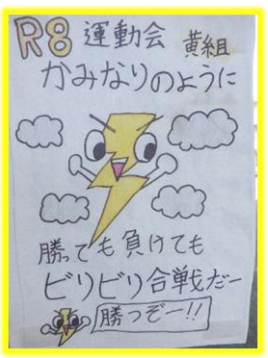




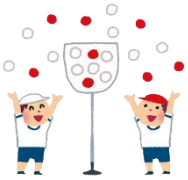












ありがとうございました

前日の午前中，小雨の降る中で保護者の皆様のご協力をいただき，２５張りのテントを設営しました。

また,今回は，地域の公式ラインからテント設営の協力を呼び掛けていただき，地域の方々のご支援もいただきました。

運動会当日，子供たちが最高のパフォーマンスを披露できたのは，このような心強いアシストがあったからこそです。

心より感謝申し上げます。

♡ 子供たちの安心・安全に ご協力いただいています ♡

泉が丘地区は交通量が多く，特に登校は通勤時間帯とも重なり，危険と隣合わせです。そのような中，3名の交通指導員さんや地域の子ども見守り隊の方々に，子供たちの安心・安全のために日々ご尽力いただいています。毎年，年度の初めに対面の会，年度終わりに感謝の会を開き，気持ちを伝えています。

子供たちには，こういった機会に，しっかりとした態度や振る舞いで参加することや，登下校の際に明るく元気な挨拶をすることが，感謝の気持ちを表す一番の方法であることを話しました。

雨の日も，暑さの中でも，天候に関係なく，たくさんの見守りの中で登下校している恵まれた子供たちですが，「自分の命は自分で守る」という意識・感覚も身に付けてほしいと思います。

4月30日(木) 交通指導員さんとの対面の会



この日も，登校指導を終えてから駆けつけてくださいました。

5月11日(月) 子ども見守り隊との対面の会



1年生は，「初めまして。」これからよろしくお願いします。

こちらも 支えていただいています



暑い中，お世話になりました。

5月14日(木) サツマイモの苗植えボランティア











学校で何をするべきか

すぐ隣の上三川町で心痛む事件が発生しました。ご家庭でも話題に上がっていることでしょう。

実行犯として初めに逮捕されたのは，16歳の少年4人です。えっ，なぜ，どうして，うそでしょ，速報を耳にした時は，誰もが絶句したことと思います。

あくまでも私見ですが，彼らに欠けていたのは「判断力」と「イメージする力」だと感じています。

脳科学者の茂木健一郎さんの著書で読んだことがありますが，「人間は，毎日の生活の中で，起床してから就寝するまで3万 5000回ほどの選択をする」のだそうです。少年たちが犯行に至るまでには，数千回の「選択」のチャンスがあったにもかかわらず，誤った判断を重ね，自分の人生そのものに傷を負わせる結果にたどり着いたのです。数千回の選択の内，どこか一つ正しい判断，勇気ある判断ができていたら…と思うと残念でなりません。

もっと単純なことですが，「これで殴られたら，痛いだろうな」「こんなことをしたら，自分はこの後，どうなるんだろう」「家族はどうなってしまうのか」等，被害に合われた方の思いや感覚，その後の自分の生活や家族の置かれる状況に思いを馳せることが，一瞬でもできなかったのでしょうか。「イメージする力」の欠如です。

「16歳」と言えば，今の6年生(12歳)の「4年後」です。学校で私たち教職員や大人にできることは何だろうと思う時，それは，「加害者をつくらない・育てない教育」だと思います。集団生活の中で，子供たち自身が「選ぶ」「決める」「考える」小さな経験を重ね，「正しい判断」のできる人にしてあげたいと切に思います。

ご家庭でも，お子様の年齢や発達に応じて話題にしていただけると幸いです。

子供たちにとって，毎日の3万5000回の選択が「楽しい一日」を築くものになりますように。